

リマークジャパン 秋田県のヘルスケア実証に参画 健康増進アプリ、スマートウォッチ提供

リマークジャパンは、このほど、秋田県が本年度事業採択したヘルスケア実証プロジェクトの一つ「企業従業員向けの腰痛ケアプログラム・運動支援プログラム」に参画することとなり、健康増進

アプリ「Good Life」とスマートウォッチを提供すると発表した。秋田県では、ヘルスケア分野の先駆的な県外企業と県内企業とが協業する先進的なヘルスケアビジネスを創出するため、ワークシヨップを開催している。その一環として、ワークシヨップに参加する企業をマッチング、県の補助金を活用し協業による二つの実証プロジェクトを事業採択した。事業主体は、秋田市の(株)アルファシステムと北日本コンピュータ・サービス(株)。アルファシステムは、リマークジャパンなど県内外5社と連携し企業従業員向けの腰痛ケ

ケアプログラム・運動支援プログラムのパッケージモデルを構築、実証する。具体的には、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に適用する「フレイル健診システムαFLOW」を自治体向けに提供。また、姿勢判定センサーやウェアラブル機器、ヘルスケアアプリなどを活用した先進的なパッケージモデルを構築する。リマークジャパンが提供する健康増進アプリ「Good Life」は、日々の健康度合いを「若返り年齢」で表示するもので、歩数をベースとしてBMI、アクティバカロリー、安静時心拍数、睡眠時間の最大5項目に対して日々計算する。同社の担当者は「秋田県内のヘルスケア企業との協業は弊社にとって新たな試みであり、今回のヘルスケア・パッケージモデルの実現化を目指すとともに女性向けや高齢者向けなどさまざまな世代に向けたヘルスケアソリューションの開発へとつなげていきたい」としている。